



暖かい日差しが感じられるようになった3月。市内の各学校で、卒業式が行われました。共に励まし合い、助け合ってきた仲間との別れ。これからはそれぞれの夢に向かって、新たな道を歩み始めます。

友との別れを惜しむ一方で、日形小学校、山目中学校と中里中学校は、閉校のときを迎えました。長い歴史を紡ぎながら、地域と共に歩んできた3校。教育機関だけでなく、地域のコミュニティの拠点としての役割も担ってきました。地域にとっても、閉校は寂しいことです。

桜のつぼみが膨らみ、暖かな春風がそよぐ4月。各校では入学式が行われました。日形小は、老松小と統合。山目中と中里中は統合し、磐井中学校として新たな歴史を刻み始めました。

春は別れと出会いの季節です。友との別れを経て、新たな道へ。進む道の先では、新たな出会いが待っています。閉校にもまた、たくさんの可能性が秘められています。閉校し、役目を一旦終えた学びや。その校舎や土地に新たな命を吹き込む活動が各地で展開されています。

特集 ✨ 閉校のムコウへ

道 標 — ミチシルベ —

「サヨナラ」は終わりを告げる言葉じゃない。
「ハジマリ」の一步を踏み出す時を知らせる合図なんだ。
僕らの母校は、長い歴史に幕を下ろした。
そして、新たな桜を咲かせた。



あいな人 File_30 いちのせきを愛する人

一関市国際化推進員

ネイト・ヒルさん

Nathan Hill 37 南新町



国際リニアコライダー実現へ 多彩なアイデアで国際化を推進

ネイトさんは、オーストラリアのパース出身。高校の授業で、初めて日本に興味を持ちました。16歳のとき、ホームステイで東京へ。「古里にはない、ハイテクと伝統的な文化が調和する日本に引かれた」と話します。以来、日本で働きたい、と高校と大学で日本語を専攻。熱心に勉強したそうです。

念願かなった初来日は、2002年。ワーキングホリデーを利用し、東京で英会話講師として働きました。その後、帰郷と来日を繰り返し、千葉や大阪などに勤務。日本でのビジネス経験を積みました。

転機が訪れたのは、11年3月。東日本大震災の発生でした。当時、オーストラリア在パース日本国総領事館で働いていたネイトさん。ニュースで流れた被災地の様子を見て、ひどく心を痛めたそうです。「何か協力したい、力になりたいと強く思った」と振り返ります。

12年に初めて東北へ。13年から市内で外国語指導助手(ALT)として働き始めました。一関の魅力は、四季折々の風景、老舗の飲食店や和文化を感じられる街並み。季節ごとに変化する景色を感じながら、一関での生活を楽んでいます。休日には、沿岸被災地へ。被災者との交流に力を注ぎます。

4月から、市の「国際化推進員」に就任。国際リニアコライダー(ILC)の実現に向けた情報発信、国際化、国際交流を推進するため、ILC推進課で働いています。外国人の視点で発掘した市の魅力を、フェイスブックなどを活用して世界中に発信。

*ネイトさんが発信する情報はこちら①「ILCニュースWEB」<http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/ilc/en/index.html>
②「ILC推進課のフェイスブック」<https://www.facebook.com/ilc.city.ichinoseki.iwate.jp>

また、市やILCのホームページの英訳なども精力的にこなします。

「ILCを実現するのが夢。今年は大変な年になる」と断言するネイトさん。「ILCが実現すれば、沿岸被災地も元気になるはず」と力を込めます。

自ら市内のALTに市内のイベント情報を発信。市民との交流の場を広げるなど、身近なところからの国際化を進めています。透き通るような青い瞳は、一関、そして東北の輝く未来を見つめます。

Profile

1977年オーストラリアのパース市生まれ。アクワイネス高校、西オーストラリア大学で日本語を専攻。市内小中学校の外国語指導助手を経て、4月から市の国際化推進員に。趣味はジム通い。「大東大原水かけ祭り」への参加を計画中。

COVER STORY

チェリーロードまつりで社会実験「1日茶屋」をオープン



1日茶屋は大盛況。工事後のまちづくりに期待が寄せられます

磐井川堤防の工事を基軸とした新たなまちづくりに取り組む「磐井川まちづくりサロン幹事会」は4月19日、チェリーロードまつりに合わせて1日茶屋をオープンしました。

1日茶屋は、工事後の堤防にカフェを開店させたと仮定し、集客などを調

査する実験。商品はあっという間に完売。同会座長の小岩邦弘さんは「実験は大成功。工事に市民の意見を盛り込むことで、新たなまちづくりのチャンスが生まれる。伐採される桜の活用についても、検討していきたい」と話し、桜並木を目に焼き付けていました。